

SK-8412 作業サポート付きコードリーダー エーミングソフトのご案内

SK-8412 エーミングソフトとは？

■国産乗用車、日野、三菱ふそうのエーミング関連機能を集約して搭載

本ソフトは標準ソフトに内蔵されている国産乗用車のエーミング関連機能（全自己診断、作業サポート、関連項目のデータ表示など）を集約し、更に三菱ふそう、日野のエーミング機能も加えて機能選択の手間を省略化したものです。

お申し込み方法

申し込み用紙に必要事項を記入して FAX、または WEB にてお申し込みください。（お申し込みは必ずユーザー登録を完了したうえで行ってください）

弊社にて登録内容を確認後、Eメールまたは FAX にて、お振込み先口座をお知らせいたします。

お支払いは銀行振り込みのみとなります。お振込み手数料はお客様のご負担でお願いいたします。

エーミングソフト追加料金：11,000円（税込）

※お振り込み後、弊社にて入金確認し、エーミングソフトのダウンロードが可能になる処理を実施するまでに、3～4日程度お時間がかかる場合がございます。あらかじめご了承ください。

エーミングソフトのダウンロード

本体を PC 接続して sk-8412.exe アプリケーションを起動後、アップデートチェックボタンを押します。

SK-8412 アップデート (v306)

診断ソフトダウンロード:

本体シリアルNO
18-000004

パスワード
●●●●●●●●

アップデートチェック

アップデート案内

登録内容変更

取扱説明書

終了

エーミングソフトのアップデート

上記のアップデートチェックボタンを押すことで最新の状態にアップデートされます。

ソフトのアップデートはお申し込み後1年間無料となります。無料期間終了後のアップデートは標準ソフトのアップデート料金（年間 6,600 円（税込））に含まれます。

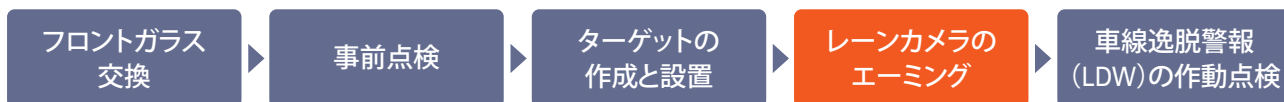
エーミングソフトの活用例 (日産ノート e-POWER / レーンカメラのエーミング)

⚠ 注意 (必ずお読みください)

- 作業サポート「カメラエーミング」を実行する際は、整備解説書で指定しているターゲットを車両前方（レーンカメラ前方）に必ず設置してください。（ターゲットを設置しない状態で本機能を実行しない。）
- 整備解説書を参照し、作業場所の確保、作業手順の確認、入力する数値の確認を必ず行ってください。
- エーミング作業は水平な場所で行い、終了後は整備解説書に記載されている作動確認を行ってください。

■エーミング作業の流れ (日産ノート e-POWER の場合)

- フロントガラスの交換を行った場合など、スキャンツールによるレーンカメラのエーミングが必要となります。
- エーミングに使用するターゲットは整備解説書を参照のうえ、自作して所定の位置に設置します。



■SK-8412 操作手順 (作業要領も含む)

手順1 エーミングモードの起動

- ① SK-8412 を車両に接続してイグニッションを ON にします。SK-8412 が起動します。
- ② SK-8412 メニューで水色のカーソルを「エーミング」のアイコンに移動させて ENTER キーを押します。

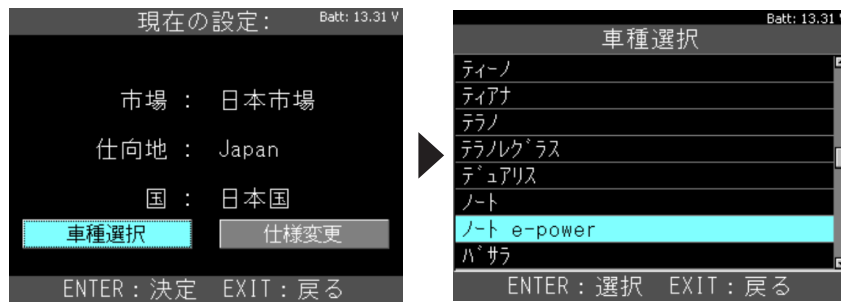


手順2 事前点検 (全自己診断の実行 ~ 年式選択まで)

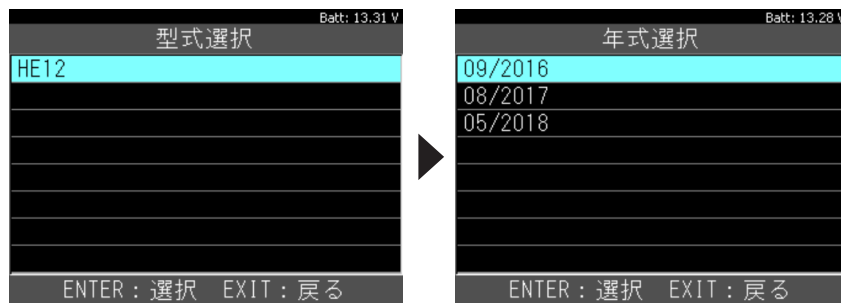
- ① 「エーミング」のメニュー画面が表示されたら、全自己診断に水色のカーソルを合わせた状態で方向キーの右を押します。画面右側のメーカー選択の欄で下を押してカーソルを「日産」に合わせて、ENTER キーを押します。



- ②「現在の設定」で「車種選択」にカーソルを合わせた状態で ENTER キーを押します。「車種選択」の画面が表示されましたら、方向キーの上下でカーソルをエーミングする車両（ノート e-power）に移動させて ENTER キーを押します。

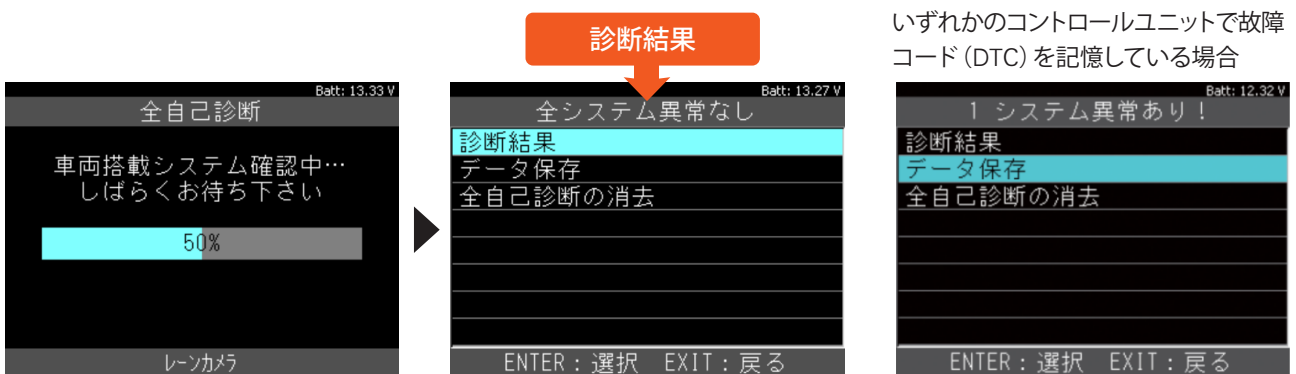


- ③「型式選択」で該当する型式にカーソルを移動させて ENTER キーを押し、その後に表示される「年式選択」で該当する年式にカーソルを移動させて ENTER キーを押してください。



手順3 事前点検（全自己診断の実行～故障コード（DTC）の確認）

- ①「全自己診断」で各コントロールユニットの点検が実行され、次に点検結果が表示されます。



- ②「診断結果」にカーソルを合わせて ENTER キーを押します。「診断結果」の一覧が表示されましたら、方向キーの上下でカーソルを「レーンカメラ」に移動させて ENTER キーを押します。



- ③「レーンカメラ」の診断メニューが表示されたら、「故障コードの読取」にカーソルを合わせた状態で ENTER キーを押して、次の画面で故障コードの有無を確認します。



- ④EXITキーを2回押して②の「診断結果」一覧に戻り、③の要領で「車間自動制御システム /ADAS」で故障コードの有無を確認しています。

- ⑤「レーンカメラ」と「車間自動制御システム /ADAS」での表示内容によって下記のいずれかに進みます。

「異常なし」または故障コード「C1B01 エーミング未完了」を表示

一旦車両からSK-8412を取り外して
手順4に進みます

故障コード「C1B01」以外の
故障コードを表示

該当する箇所の故障診断を行ってください

手順4 カメラエーミング調整前準備

- ①整備解説書に記載されている要領で「診断前点検」を行ってください。
- ②シフトレバーをPレンジに入れてパーキングブレーキを解除してください。
- ③インストルメントパネル上に不要なものがないか確認してください。

手順5 カメラエーミング調整治具と設置

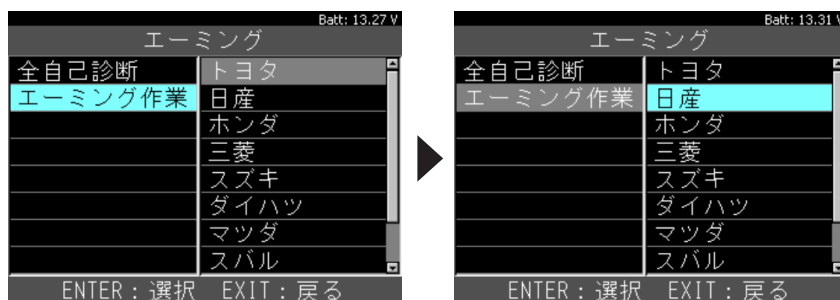
- ①整備解説書に記載されている要領でエーミング用ターゲットを作成し、所定の位置に設置してください。
※作成と設置に時間がかかる場合は、一旦イグニッションをOFFにし、手順7で再度ONにしてください。

手順6 車高計測（ホイールアーチの高さ計測）

- ①整備解説書に記載されている要領で車高計測（ホイールアーチの高さ計測）を行ってください。
- ②上記①の計測値を基に、整備解説書に記載されている式を使用して「Dh 値」を算出してください。

手順7 SK-8412 エーミングモードの起動

- ①手順1の要領でSK-8412の「エーミングモード」を起動します。
- ②「エーミング作業」にカーソルを合わせて右を押し、「日産」にカーソル合わせてENTERキーを押します。



- ③手順2の②～③と同様の手順で車種、型式、年式を選択すると下記の画面に変わります。

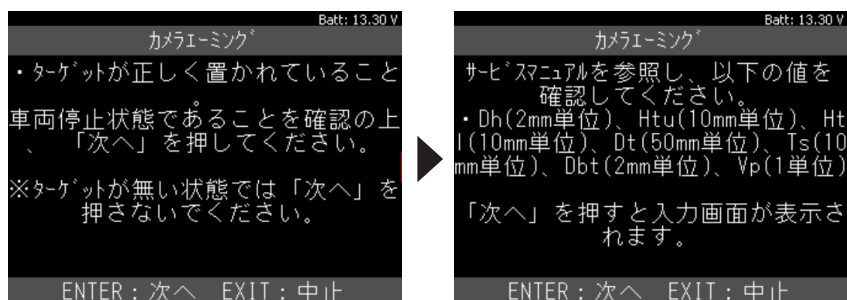


手順8 レーンカメラ～カメラエーミングの選択

- ①「レーンカメラ」にカーソルを合わせた状態でENTERキーを押します。その次に「レーンカメラ 作業サポート」に表示されている「カメラエーミング」にカーソルを合わせた状態でENTERキーを押します。



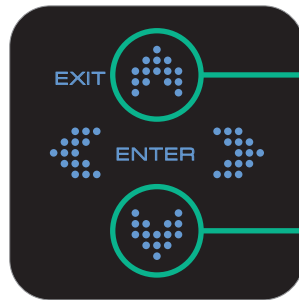
- ②ターゲットの設置と車両状態に関するメッセージが表示されます。表示内容に沿って確認を行った後、ENTERキーを押します。次の画面のメッセージを確認したらENTERキーを押します。



手順9 「Dh値」の入力

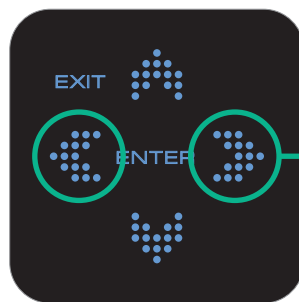
「Dh値」の入力画面が表示されたら、手順6で算出した「Dh値」を入力します。（下記例は Dh値が-001の場合）

① 桁目（左端）の0にカーソルを合わせた状態で、方向キーの上下で1桁目の数値を入力します。



上下キーを押して
0~9 / + / - を入力

② その他の桁に数値入力を行う場合は方向キーの左右でカーソルを入力したい桁に移動させた後、上記①と同様に上下キーで数値を入力します。

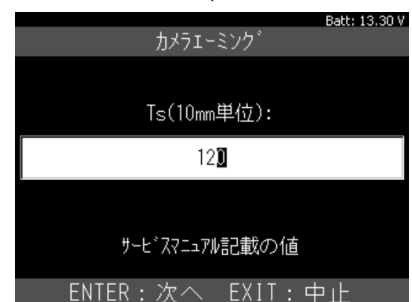


左右キーで数値入力をしたい
桁にカーソルを移動

③ 各桁の数値入力が完了したら、最後に ENTER キーを押してください。

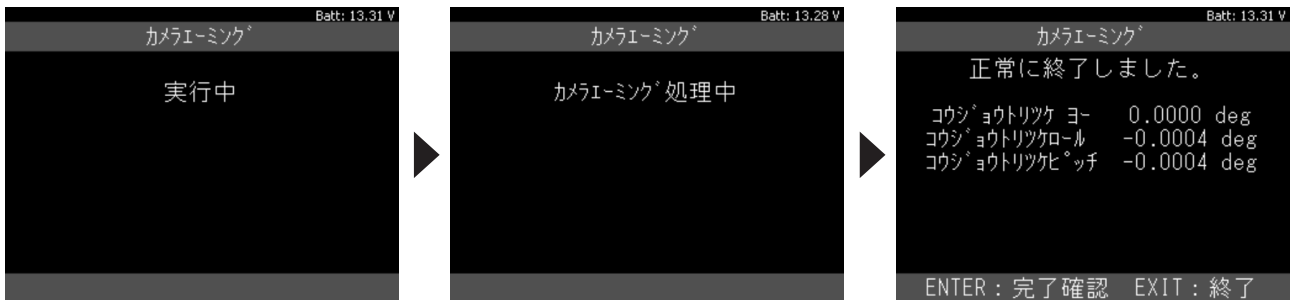
手順10 その他の値の入力

① 「Htu」「Htl」「Dt」「Ts」「Dbt」「VP」の値を入力する画面が表示されますので、整備解説書に記載されているそれぞれの値を手順9と同じ要領で入力してください。



手順 11 カメラエーミングの実行

①「Vp」の値の入力が完了しましたら ENTER キーを押します。カメラエーミングが実行されます。



画面に「正常に終了しました」を表示

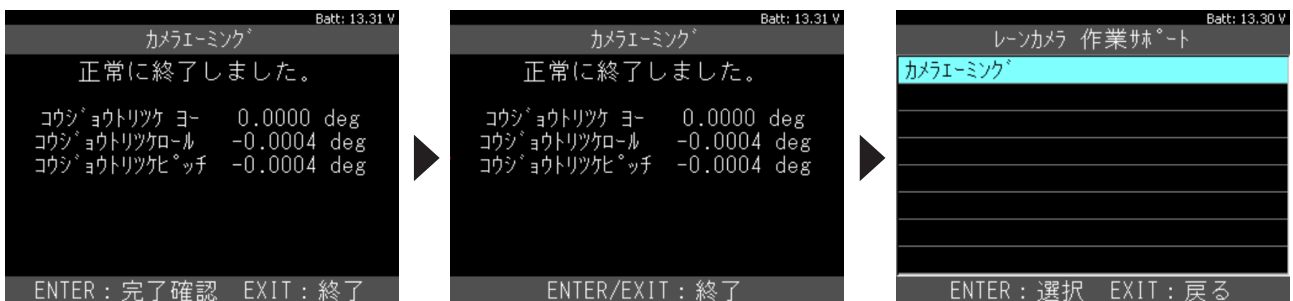
手順12に進みます

画面に「停止」または
「異常終了しました」を表示

EXITキーを押して、整備解説書を
参照して点検・整備を行ってください

手順 12 完了確認と全自己診断

①ENTER キーを押して完了確認を実行した後、再度 ENTER キーを押して「レーンカメラ 作業サポート」の画面を表示させ、最後に EXIT キーを押して SK-8412 を再起動させます。



手順 13 全自己診断の実行

①SK-8412 が再起動しましたら手順 1～手順 3 の要領でレーンカメラの自己診断を実行してください。

「異常なし」を表示

車両からSK-8412を取り外して手順14に進みます

故障コードを表示

該当する箇所の故障診断を行ってください

手順 14 車線逸脱警報 (LDW) の作動点検

①整備解説書を参照し、車線逸脱警報が作動するか確認してください。作動が確認出来れば完了です。